

## 2010 年度 工学部物質工学科 A コース 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
T1Z051001	工学倫理	2.0	4 年後期月曜 5 限	植田 憲	物質 2

授業科目名： 工学倫理	開講時限等： 4 年後期月曜 5 限
科目英訳名： Engineering Ethics	講義室： 大講義室
担当教員： 植田 憲	(大講義室は教育学部 2 号館の講義室である。)
単位数： 2.0 単位	
授業コード： T1Z051001	

## 科目区分

2007 年入学生： 専門基礎選択必修 E20 ( T1E:都市環境システム学科, T1F4:デザイン工学科 A コース ( 建築 ), T1J:都市環境システム学科, T1J1:都市環境システム学科 ( 環境 ), T1J2:都市環境システム学科 ( メディア ), T1K8:デザイン工学科建築系 ( 先進科学 ), T1L:メディカルシステム工学科 ), 専門基礎選択 E30 ( T1F5:デザイン工学科 A コース ( 意匠 ) ), 専門選択必修 F20 ( T1H:情報画像工学科 A コース, T1M1:共生応用化学科生体関連コース, T1M2:共生応用化学科応用化学コース, T1M3:共生応用化学科環境調和コース )

## [授業の方法] 講義

[受講対象] 工学部 2～4 年次 (学科により指定あり)。

[授業概要] 工学は科学・技術のさまざまな成果を活かし、我々の生活及び生活環境を豊かにする実践の学問である。しかし、その使用の方向、利用の仕方が適正でない時、社会的な大きな混乱や損失が生じ、ひいては個人の生活を脅かす事態となる。本講義では、社会との関係における工学者の使命、規範、役割、権利と義務等について広範な視点から論述する。

[目的・目標] 技術者が社会において、正しい倫理観に基づいた技術の発展と社会貢献を進めるための基本的な概念と知識を身につけることを目的とする。

[授業計画・授業内容] 実際の開講時には変更になる可能性があります。 以下は平成 22 年度の内容となります。

1. ガイダンス (10 分) 倫理とは (石井 正人：千葉大学文学部)
2. 工学倫理の特徴 (忽那 敬三：千葉大学文学部)
3. 職能倫理としての工学倫理 (土屋 俊：千葉大学文学部)
4. 生命倫理 (田村 俊世：千葉大学大学院工学研究科)
5. 企業活動と知的財産権 (渡辺 隆男 弁理士/千葉大学非常勤講師・知的財産機構)
6. 技術者の知的所有権等財産的権利 (1) (高橋 昌義 弁理士/千葉大学非常勤講師・知的財産機構)
7. 技術者の知的所有権等財産的権利 (2) (高橋 昌義 弁理士/千葉大学非常勤講師・知的財産機構)
8. 組織における工学者の倫理 (中込 秀樹：千葉大学大学院工学研究科)
9. ネットワーク倫理 (全 へい東：千葉大学総合メディア基盤センター)
10. 製造物責任 (PL) 法 (1) (小賀野 晶一：千葉大学法経学部)
11. 製造物責任 (PL) 法 (2) (小賀野 晶一：千葉大学法経学部)
12. 資源エネルギー消費と環境倫理 (町田 基：千葉大学総合安全衛生管理機構)
13. 安全とリスク (1) (篠田 幸信：NTT アドバンステクノロジー社)
14. 安全とリスク (2) (篠田 幸信：NTT アドバンステクノロジー社)
15. 千葉大学ロボット憲章 (野波 健蔵：千葉大学大学院工学研究科) まとめ (10 分)

[キーワード] 工学者の使命, モラル, 義務, 規範, 技術者倫理

[評価方法・基準] 毎回、講義の最後に小テストを実施し、その結果を踏まえて判定します。12 回以上出席しないと、単位認定できませんので注意してください。

[履修要件] 各学科の科目区分はオンラインシラバスを参照のこととし、表示がない場合は各学科教育委員に確認してください。

[備考] 講師の都合により順番、内容に関して変更する場合があります。1 回目の授業の初めに行うガイダンスに必ず出席して下さい。